

あなたならどう伝えるか？

令和7年度

ふくしま震災伝承者

交流会 参加者募集

東日本大震災・原子力災害の震災伝承者は、震災を知らない世代や被災していない方など多様な立場の方にどのように伝えるかなどの悩みを抱えています。

こうした課題に対し、様々な立場で活躍している

震災伝承者の思いを共有しながら、

「あなたならどう伝えるか？」をテーマに

未来に繋がる伝承のあり方について、

みんなで意見交換をしましょう。



日時

2025年12月9日 火
10:20 ▶ 14:20

参加
無料

参加対象

- ☑ 県内各語り部団体の会員
 - ☑ 震災伝承に興味のある方
 - ☑ 市町村等関係者
 - ☑ 震災伝承施設関係者 等
- どなたでも参加できます



申込方法

参加希望者は、
右記の参加申込フォームから
お申込みください。

<https://forms.gle/5ni1BLModJNDftru6>

【申込締切】11月30日(日)まで

申込は
コチラ！



福島県生涯学習
情報サイト
「ふくしまマナビ」
に掲載しています。



福島県
生涯学習課
ホームページ
に掲載しています。



会場

富岡町文化交流センター
学びの森 大会議室

福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1

常磐自動車道 常磐富岡インターチェンジより車で約10分
または、ならはスマートインターチェンジより車で約15分



あなたなら どう伝えるか？

令和7年度

ふくしま震災伝承者

交流会



プログラム

10:20 開 会

10:30 講 話 「目に見えない放射線 -伝えたかったことと聞きたかったこと-」

目には見えなくて説明の難しい放射線についてどう伝えるか、様々な立場の方にどう伝えていくかなど、東京電力第一原子力発電所事故後、多様な立場の方々へ原子力・放射能についてお伝えしてきた講師が、その経験を基に、「伝える側」の悩みや難しさ、「受け取る側」から学んだことなどをお話します。

【講 師】株式会社千代田テクノ社長付特別顧問／
近畿大学客員教授

杉浦 紳之 氏

11:30 休 憩 会場内でのご飲食は可能です。会場にはゴミ箱がありませんので、ゴミは各自でお持ち帰りください。

13:00 グループワーク テーマ「あなたなら どう伝えるか？」

小グループでの交流。グループで意見交換後、グループで出た意見を発表します。

進 行：前川 直哉 氏(福島大学准教授)



14:00 感想発表(フリー発表)

14:15 閉 会 / 閉会后14:20～15:00フリー交流



株式会社千代田テクノ
社長付特別顧問／
近畿大学客員教授

すぎうら のぶゆき
杉浦 紳之 氏

1961年生まれ、東京都出身。東京大学医学部保健学科卒業。医学博士。

日本原子力研究所、東京大学、近畿大学、放射線医学総合研究所、原子力安全研究協会を経て、2021年より現職。

専門分野は放射線防護。東京電力福島第一原子力発電所事故後、福島県内の市町村職員や住民の方々に放射線の人体影響の講演や外部被ばく、内部被ばくの測定結果についての説明を行ってきた。



福島大学准教授、
一般社団法人ふくしま
学びのネットワーク理事・事務局長

まえかわ なおや
前川 直哉 氏

1977年、兵庫県尼崎市生まれ。灘高校3年在学時に阪神・淡路大震災で被災。

東京大学教育学部卒業、京都大学大学院単位取得退学。京都大学博士。

灘中・高校教諭在職時に起こった東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の後、勤務校の生徒とともに福島・宮城の被災地域を訪れる「東北訪問合宿」を実施。2014年3月に同校を退職し、4月より福島県福島市に転居。「一般社団法人ふくしま学びのネットワーク」を立ち上げ、理事・事務局長を務める。2018年4月より福島大学教員。

お申込み・お問合せ

東日本大震災・原子力災害 ふくしま語り部ネットワーク会議事務局

(福島県 企画調整部 文化スポーツ局 生涯学習課)

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 福島県庁本庁舎5階

■TEL／024-521-7404 ■E-mail／f-kataribe@pref.fukushima.lg.jp